

平成29年度 自己評価書

学校名	北海道北広島西高等学校
-----	-------------

1 本年度の重点目標

(1)「学び直し」と「キャリア教育」を軸に、「21世紀型能力」の育成をめざし、確かな学力とコミュニケーション能力の向上を図るための多様な教育活動を積極的に展開する。 (2) 心豊かに、ともに支え合う共生社会を形成する担い手を育むために、地域との連携・協働体制を確立し、地域の教育資源を生かした教育機会を積極的に創出する。

2 自己評価結果及び改善方策

評価項目		達成状況	取組の適切さ	今後の改善方策
項目	小項目			
学習指導	3年間を見通した学習指導計画、学習方法・形態の工夫・改善等により、組織的に学力向上が図られているか。	B	B	○思考力・判断力・表現力等の育成を念頭に、定期試験に向けた作問の検討も含めて、全教科においてアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を着実に進めていく。 ○授業研修(公開授業)の実施方法等の工夫・改善を図り、教職員の授業力向上を目指した実効的な取組を進めていく。
	授業規律の徹底が図られ、落ち着いた雰囲気での授業が行われているか。	C	C	
	評価の規準・観点を明確にし、生徒の学力向上につながる評価方法が研究・実施されているか。	C	B	
	校内研修の充実が図られているか。	A	A	
生徒指導	遅刻防止指導や身だしなみ指導等を通じて、基本的生活習慣の確立が図られているか。	A	A	○遅刻防止に向けて、遅刻理由まで掘り下げた指導を行い、生徒の生活習慣改善や意識改革を図っていく。 ○気になる生徒に対しては、「常に声をかける」、「教職員間で情報を共有する」、「教職員のチームで対応する」の徹底を図り、組織的な指導体制の確立を図る。
	交通安全・交通マナー教育の充実に努めているか。	A	A	
	校内外の巡視等により、非行事故や問題行動等の未然防止に努めているか。	A	A	
	生徒観察、面談及びアンケート等により、いじめの未然防止及び早期発見・指導に努めているか。	A	A	
進路指導	学年・分掌・教科・保護者との連携により、適切な進路選択に向けてきめ細かいサポートが行われているか。	B	B	○卒業後の進路に関する生徒との二者面談や保護者も交えた三者面談の実施時期・方法等の工夫・改善に努め、ガイダンス機能や保護者との連携の強化を図る。
	自他の理解(1年)・自己探求(2年)・自己キャリアのデザイン(3年)という目標達成に向けた方策が図られているか。	B	B	
	行事・LHR・ST・講習・インターンシップ等の効果的運用を図り、キャリア教育の充実に努めているか。	B	B	
	豊かな勤労観・職業観の育成に努め、職業選択の幅を広げる指導を行っているか。	B	B	
保護者との連携	家庭や地域との連携・協力体制を構築するために、学校だよりやHP等を通じて情報が適宜・適切に公開されているか	A	B	○学校ホームページを活用した情報発信の在り方に工夫・改善を図る。 ○学校だよりの字の大きさや構成について、工夫・改善を図る。
	学校行事の公開や地域の行事・ボランティアへの参加等、保護者や地域との連携に取り組んでいるか。	A	A	